

～未来を担う子どもたちのために～ 焼却灰を安全に保管する計画を進めています

☎放射能対策室（旧勤労青少年ホーム内） ☎25-3720 <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/section/taisaku/>

放 射能濃度が1kg当たり8,000ベクレルを超える焼却灰の仮置場を旧町村ごとに設置し、国が最終処分場を建設するまで、各家庭から収集した焼却灰を安全に保管する計画を進めています。

仮置場における焼却灰の保管は、放射線量を約90%低減する鉄筋コンクリート製の保管箱に収納し、収納する際は、焼却灰の流出や飛散を防止するため、慎重な作業を徹底します。また、定期的に仮置場と周辺の空間放射線量を測定し、その結果を公民館に掲示することで、保管の安全性を公表します。

昨年12月、市役所駐車場に見本用の保管箱を1台置きましたので、実際にご覧いただき、安全性をご確認ください。

※各家庭で保管している焼却灰は、仮置場を設置した地区から収集、保管を始めます。それまでは、飛散しないように袋などに入れ、敷地内の人が近づかないところで保管してください。



▲市役所正面駐車場東側に設置された見本用保管箱

■保管箱の仕様
構造：鉄筋コンクリート製、寸法：縦・横1.7m×1.7m、高さ1.4m、厚さ15cm、重量：約4.8トン、容量：2.1㎡

薪風呂を改修する費用を助成します（焼却灰排出抑制事業補助金）

☎建設課 ☎22-1326

焼 却灰の排出を抑制するため、風呂の燃焼方式を薪から灯油やガス、電気などに改修する場合、費用の一部を助成しています。

助成を受けるには要件があり、改修工事着手前に申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

●対象 ①市内に所有する住宅に居住し、住民登録または外国人登録をしていること、②世帯全員が、市税

などに滞納がないこと

- 要件 ①薪風呂の燃焼方式をガスバーナーや給湯器（灯油・ガス・電気方式など）に改修する工事であること、②改修工事費（消費税を含む）が2万円以上であること、③市内に本店・営業所などを有する法人または個人事業主が施工した工事であること

●補助額 工事費の2分の1に相当する額（上限10万円）。

第11回冬の検断屋敷まつり ～小原の冬を楽しむ～

1月12日、小原地区の冬の恒例行事となった「冬の検断屋敷まつり」が検断屋敷で開催されました。この日は、来場者が昔ながらの木臼ときねを使って餅をつき上げ、つくたての餅を紅白に染めて丸めた後、ミズキの枝に飾り付ける「だんご刺し」を体験。また、無病息災を願って14日夜に食べる「暁がゆ」が振る舞われ、訪れた人たちは、暁がゆを食べながら、小原の伝統紙芝居に聞き入りました。

このほかにも、今年の抱負を書いた短冊を風船に付けて飛ばすイベントでは、それぞれが願いごとを書いて、空に向かって一斉に投げ、元気いっぱい小原の冬のまつりを楽しんでいました。



▲今年1年の健康を願い「だんご刺し」を体験する来場者

仲間の思いをタスキでつなぐ

第3回小学生駅伝競走大会



▲優勝した「白石-A」。右から榊原巧くん、川村涼華さん、佐藤笑佳さん、小林舜くん、小池佑弥くん

12月15日、「第3回小学生駅伝競走大会」が白石川緑地公園陸上競技場周辺で開催されました。大会には、各小学校代表の1チーム5人で編成された30チームが参加。1区2,100m、2～4区各1,400m、5区2,200mの区間を全力でタスキをつなぎました。大会は、白石第一小学校「白石-A」が、大会新記録で優勝。また、七ヶ宿町の湯原小学校と関小学校の混成チーム「七ヶ宿町」は、混成のため参考記録となりましたが、優勝チームを上回る記録でゴールするなど、回を重ねるごとにレベルが高い大会に成長しています。

新春の誓い新たに

新春を寿ぐ



▲平成25年春・秋の叙勲、高齢者叙勲、危険業務従事者叙勲の栄に浴された方々のご家族。参加者全員で受賞を祝いました

1月7日、新春恒例の「新春を寿ぐ市民の集い」をホワイトキューブで開催しました。本年の集いには市民や事業所の方など約400人が参加。始めに、平成25年春・秋の叙勲、高齢者叙勲、危険業務従事者叙勲の栄に浴された方々やご家族に記念品と花束が贈呈され、参加者全員で受賞を祝いました。風間市長は、「これからは地域の発展のためにお力添えをお願いします」とあいさつ。参加者は、新春を祝いながら互いの親ぼくを深め、市民、事業所が一丸となって住み良いまちづくりのため頑張ろうと誓いを新たにしました。

子どもたちのために使って

ふれあいプラザに現金入りの封筒



1月11日、現金8万円と手紙入りの封筒がふれあいプラザのポストに投函されていました。封筒にあて名や差出人の記載はなく、手紙には「子ども達のために使って下さい。今年も平和に過ごせますように」と柔らかい文字で書かれていました。

同施設には平成22年から毎年1回、同じような現金の投函があり、市ではこれまでふれあいプラザや保育園の遊具や備品の購入などに活用させていただきました。今回のご寄付も子育て支援などの福祉事業に活用させていただきます。

こま回しやりたい

白石はるかぜ保育園でこま回し実演会



1月10日、弥治郎系こけし工人の新山吉紀さんを招き、白石市はるかぜ保育園で「こま回し実演会」が行われました。新山さんは、「子ども達のために使って下さい。今年も平和に過ごせますように」と柔らかい文字で書かれていました。

この日新山さんが持参したこまは、つりごまや飛び出しごまなどの「江戸独楽」など約20種類。園児たちは実演後、「やりたい」と歓声を上げながら楽しそうにこま回しを体験していました。

警察活動に貢献

片倉組に感謝状



白石警察署は1月9日、管内の白石市、蔵王町、七ヶ宿町で防犯や交通安全などの警察活動に貢献した個人と団体に感謝状を贈りました。感謝状が贈られたのは、本市のすまいる大使・白石戦国武将隊「奥州片倉組」など15人と9団体。白石警察署で行われた贈呈式で、三浦英幸白石警察署長から出席者に感謝状が手渡されました。

片倉組は、110番の日や年末年始の特別警戒などに積極的に参加。管内の治安維持に積極的に協力したことなどが評価されました。